

「お金のカタチ」ワークシート～見在目編～

1. 下線に当てはまる言葉を考えて、穴埋めしてみましょう。

・お札のデザインはどれもとても細かい線で描かれています。また、全部で 20 色程度を使用することでプリンターでの再現を難しくしています。色を地味にすることで再現を難しくしたり、人間が異変に気付きやすい人の顔をデザインに用いたりすることで、偽造を難しくしています。

・インクが表面に盛り上がるような立体的な印刷を深凹版印刷といいます。

・目の不自由な人に向けて作られた、紙幣の下部にあるざらざらとしたマークのことを識別マークといいます。

・カラーコピー機では簡単に再現できないくらい、小さく書かれた文字が紙幣には用いられています。この文字のことをマイクロ文字といいます。

・紙幣を傾けると光沢を帯びたピンクの模様が見えます。この模様を印刷するとき用いられるインクのことをパールインキといいます。

・紙の厚さを変えることで光を通して見たときに肖像画が浮かぶようになる印刷のことをすかし (すき入れ) といいます。

・一万円札と五千円札の、傾けると額面金額、日銀のマーク、桜の三種の絵が出てくる部分のことをホログラムといいます。

・現在の紙幣の表面肖像は一万円札が福沢諭吉、五千円札が樋口一葉、千円札が野口英世です。おなじく裏面は一万円札が鳳凰像、五千円札が燕子花図、千円札が富士山と桜です。

2. あなたがお札の肖像になる人を選ぶのならだれを選びますか？サイトの肖像画に選ばれた人に関する説明を読んだうえで、理由とともに書いてみましょう。また、書いたら友達と見せ合ってみましょう。

肖像画 → 例) 吉田松陰

理由

例) 近代の日本の骨組みを作った明治政府で要職を務めた数々の人を育てた、松下村塾を作ったから。